

## 全国中学校理科教育研究会北海道大会へのブース出展

北海道札幌市で開催された「全国中学校理科教育研究会(以下、全中理)北海道大会」に当協会のブースを初めて出展し、放射線や原子力に関連する情報、放射線分野の授業の進め方に関する情報等を提供しました。

本大会は全国の理科教員の方々を対象に毎年夏休みの時期に開催されています。今年は北海道札幌市にある札幌市教育文化会館にて、8月5日(水)～7日(金)の3日間にわたって開催されました。参加教員数は約510名で、会場の大ホールにて特別講演や学術講演、分科会などが実施されました。

当協会のブースでは原子力・放射線教育に関する資料や情報を先生方に提供しました。ブースにご来場の先生方には、放射線の基礎について纏めているパンフレット・DVDをお渡ししたり、放射線を利用した技術の紹介、さらに放射線教育支援の窓口の紹介などを行いました。先生方は真剣に説明や紹介に熱心に耳を傾けられ、質疑も活発に行われました。なお、放射線技術を応用して作られた消臭布巾の無料配布なども行い、用意した配布物はほとんどなくなった為、DVDなどの不足分に関しては資料の送付先をお教え頂き、後日発送させて頂きました。

本大会のブースの出展により、当協会が原子力業界でコーディネーターとして機能しうる団体であり、放射線や原子力の教育でお困りの際にお声掛け頂ければ、解決に向けて支援する用意が有ることをお伝えできたものと考えております。

本年度は北海道での開催でしたが、来年度は京都での開催が決定されています。当協会では北海道大会から得られた情報を元に、先生方に提供する情報の内容や数量、必要とする支援の内容を検討し、放射線教育に関する更なる支援体制の確立を図ってまいります。